

平成25年度授業シラバスの詳細内容

| | | | | |
|---------------|---|-----|-------|---------|
| 科目名(英) | 卒業研究 (Graduation Thesis) | | 授業コード | C109925 |
| 担当教員名 | 本多 恒雄 | | | |
| 配当学年 | 4 | 開講期 | 前期 | |
| 必修・選択区分 | 必修 | 単位数 | 6 | |
| 履修上の注意または履修条件 | 当研究室は毎日研究室に来ることを履修の条件としています。就職活動等で欠席の場合は必ず連絡を入れること。 | | | |
| 受講心得 | 受身の授業ではありません。研究室にて自主性をもって自己のテーマについて実行計画を立案し研究を進めることが必要です。 | | | |
| 教科書 | 特になし | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 研究テーマに沿った参考文献や指定図書をアドバイスします。 | | | |
| 関連科目 | 研究ゼミナールB | | | |

| | |
|-------|---|
| 授業の目的 | 大学教育の集大成として自分自身で研究テーマを決定し、目標を定め、それに向かって自主的に研究を行うことを目的とします。 |
| 授業の概要 | 学生が特定のテーマを選び、成果を導き出すための研究計画(マスタープラン)を立案し、それに基づいて自分自身の実行計画を立て、行動します。研究の過程では自分の思惑通りには事が進まず、いろいろな障害が発生しますが、これら乗り越えて、最終的に卒業論文として纏めます。大学教育の集大成として、この卒業研究を通し企業が求める資質要件(挑戦力、責任感、思いやり、コミュニケーション等)の鍛錬を目指すと共に、卒業資格を得るための最終過程です。 |

| ○授業計画 | |
|--|-------------------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第2週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第3週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第4週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第5週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第6週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第7週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第8週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第9週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第10週: | |

| | | |
|---|-----------------|-------------------------|
| 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第11週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第12週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第13週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第14週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| 第15週: 卒業研究のテーマ及び研究目的を決定し、実行計画を立て、目標に向かってP(Plan:計画)、D(Do:実行)、C(Check:評価)、A(Action:改善)を廻しながら、研究を進めます。 | | 卒研ミーティングで進捗状況を確認し指導します。 |
| | | |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2) 複数担当の場合の方式 | |
| | (3) アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 備考 | | |

| | |
|-----------------------------|--|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | 卒業研究に関心を持ち、研究や課題に果敢に取り組み、柔軟な思考で課題解決法を見出すことができる。 |
| 【知識・理解】 | 卒業研究の自己のテーマに関して基礎理論及び知識を体系的に理解している。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | グループの意見・立場を良く聞き分け理解しながら、課題等の解決にむけ技術的に思考、判断できる。また判断した結果を論理的に表現し相手に明確に伝えることができる。 |
| 【思考・判断・創造】 | 自己テーマの基礎理論及び知識に基づく技術的思考・判断ができ、新しい技術の創造に貢献することができる。 |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|-----------------|---------------|--------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 10点 | 20点 | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。 | | 10点 | 10点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | 10点 | 10点 | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | 10点 | 20点 | |

(「人間力」について)

※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
|---------------|--|
| レポート・作品等(提出物) | 自己の研究を通して制作したGSE、教材等は評価対象とします。指導教員のアドバイスやスタッフからの指導を受けて、怪我をしないよう制作にあたります。また必要な材料、部品、消耗品等は指導教員に相談して下さい。 |
| 発表・その他(無形成果) | ①自己の研究内容を卒業論文として纏め、指導教員の点検後、学生及び教員の前で成果発表を行います。 ②本多研は研究や就職活動において指導教員への報告、連絡、相談を大切にしお互いのコミュニケーションを図っています。また卒業研究は自主的な活動で受動的な授業はありません。そのため1週間に1回のミーティングは実施しますが、それ以外も毎日研究室に顔を出し、同じ研究室の仲間と情報交換し、自己研究を少しでも進める様にすることが重要で、これが本多研の伝統ですので、各自守ってもらいます。 |